

## 新社会推進商工委員会

◆新社会推進商工委員会は、中小企業振興、観光振興、先端産業育成、文化・スポーツ振興、国際交流の推進、安全・安心まちづくり、青少年対策などについて審査及び調査を行っています。



新しい木工産業についての取組みを視察  
特に、「小さな会社でもブランド化は可能」と成長を遂げる企業を訪問 (平23.11.7 大川市)

## 決算特別委員会

◆決算特別委員会は、10月25日から11月4日までの8日間、付託された平成22年度一般会計歳入歳出決算書の審査から特別会計など20件を審査しました。

私は、委員として6項目にわたって質疑を行いました。中でも自民党県議団を代表して「外郭団体の見直しについて」、「公共工事のあり方について」は小川知事に保留質疑と関係する各部長に総括質疑を行ったところです。

◆外郭団体等の見直しについては、県から多額の投資を行っているにも関わらず、毎年、県からの財政支出を行っている外郭団体については、基本財産のあり方を見直して、県の出資金の返還を求めると質しました。また、外郭団体の役割、事業内容の見直しについて、役割を終えた団体の速やかな廃止の検討、県職員の派遣のあり方、県事業との重複の調整、民間委託など事業の見直しを求めました。

◆小川知事からは、時代の変化や現下の厳しい経済状況を踏まえながら行政改革を進めなければならない。こうした外郭団体の見直しは、大変重要な改革事項の一つであり、今後は議会での議論、行政改革審議会の審議の内容も踏まえて、より一層、行政の効率的・効果的な推進を図る観点で公社等外郭団体の見直しに努める。



決算特別委員会において知事保留質疑の様子



「福岡ブルータワー」  
(平23.10.17 大牟田市)



「メガソーラー大牟田」  
(平23.10.17 大牟田市)



柳川あめんぼセンターにて金子市長と懇談  
(平23.11.8 柳川市)

◆「福岡ブルータワー」(地上約35m)木質バイオマスから水素を製造する。世界初の商用プラントであり、今年の4月から供給開始です。地域から出る間伐材、端材などを有効利用して作り出すプラントです。水素の純度が高く効率的なエネルギーとして期待されます。

◆太陽光発電所「メガソーラー大牟田」は、敷地面積8万㎡でヤードームとほぼ同じです。最大出力は、3kWで、雇用の家庭用電気約2千2百戸分に相当します。

◆金子柳川市長と観光産業の現状と課題を常任委員会で意見交換を行い、この後「御花」など柳川市内の観光施設を視察しました。

## 防災及びエネルギー、水安定供給調査特別委員会

◆本県は、1,795mm/年で、全国平均1,690mm/年とほぼ同程度ですが、1人当たり換算すると全国平均4,952mm/年に対し、本県は1,771mm/年と全国平均の約1/3となっています。

◆本県の平均降水量は、1,795mm/年で、全国平均1,690mm/年とほぼ同程度ですが、1人当たり換算すると全国平均4,952mm/年に対し、本県は1,771mm/年と全国平均の約1/3となっています。

◆本県は、1,795mm/年で、全国平均1,690mm/年とほぼ同程度ですが、1人当たり換算すると全国平均4,952mm/年に対し、本県は1,771mm/年と全国平均の約1/3となっています。

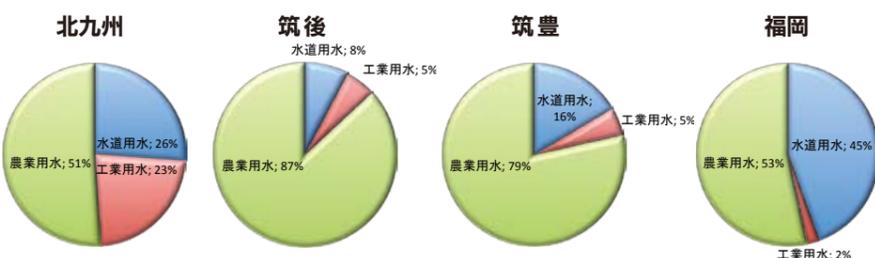
### 「福岡県における水事情について(概要)」

◆本県の平均降水量は、1,795mm/年で、全国平均1,690mm/年とほぼ同程度ですが、1人当たり換算すると全国平均4,952mm/年に対し、本県は1,771mm/年と全国平均の約1/3となっています。

◆本県の平均降水量は、1,795mm/年で、全国平均1,690mm/年とほぼ同程度ですが、1人当たり換算すると全国平均4,952mm/年に対し、本県は1,771mm/年と全国平均の約1/3となっています。

福岡県における水利用の状況 (単位: 百万㎡/年、%)

地域・用途	水道用水	工業用水	農業用水	計
全県	495 (21.3%)	207 (8.9%)	1,625 (69.8%)	2,327 (100%)
福岡	225 (44.5%)	11 (2.2%)	270 (53.4%)	506 (100%)
筑後	73 (7.6%)	52 (5.4%)	830 (86.9%)	955 (100%)
筑豊	50 (16.5%)	15 (5.0%)	238 (78.5%)	303 (100%)
北九州	147 (26.1%)	129 (22.9%)	287 (51.0%)	563 (100%)



完成予想図

## 五ヶ山ダム建設事業

### 事業概要

○場所 福岡県筑紫郡那珂川町(那珂川水系那珂川)

○目的

【洪水調節】  
梅雨や台風などの大雨により那珂川に発生した洪水の一部を、五ヶ山ダムに一時的に貯めて下流へ、流す水量を少なくすることで、下流域(福岡市、那珂川町)の洪水被害の防止、軽減を図ります。

### 【流水の機能の維持】

那珂川を流れる水量を安定させることで、那珂川沿いの農業用水の確保と動植物の生態系の保持や潤いのある地域の環境を守ります。

### 【水道用水の供給】

私たちの暮らしに必要な生活用水を安定的に供給するもので、福岡地区水道企業団(大野城市を含む9市8町)

への水道用水として新たに、一日あたり1万㎡の取水を可能にします。

### 【渇水対策】

昭和53年や平成6年の異常渇水時など、那珂川から取水している福岡都市圏の水道用水などについて、住民生活に与える影響を最小限に抑えるための、緊急補給を行います。

### 事業費及び完成予定年度

- 総事業費 : 1,050億円
- 治水負担分
  - ・福岡県 : 約293億円
  - ・国 : 約293億円
- 利水負担分
  - ・福岡市 : 約368億円
  - ・福岡地区水道企業団 : 約85億円
  - ・春日那珂川水道企業団 : 約10億円



位置図

- 平成22年度まで : 約545億円 (平成22年度末での進捗率約52%)
- 平成23年度当初 : 約46億円
- 平成23年度事業内容 : 付替道路工事及び仮排水トンネル工事を実施
- 完成予定年度 : 平成29年度

ダム諸元  
堤高 : 102.5m, 総貯水容量 : 4,020万㎡

地域を知って、参加して、考えて、伝えて行動する。